

がん化学療法処方

プロトコール名: 肺癌(扁平上皮)CBDCA・nab-PTX+ペムブロリズマブ療法(1クール21日)
(下に実際の投与方法を記載)

投与日	薬品名	投与経路	投与時間
d1	① 生理食塩液 50mL(プライミング用)	div	-
	② キイトルーダ点滴静注200mg+生理食塩液50mL 0.22μmのインラインフィルターを使用 調製後6時間以内に投与完了	div	30分
	③ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
	④ グラニセトロン点滴静注バッグ1mg/50mL+デキサート注射液4.95mg ※ライン交換要	div	15分
	⑤ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
	⑥ アブラキサン点滴静注100mg/m ² +生食20mL/m ² インラインフィルター不可 払い出し容器は、100mLボトル 最終濃度は5mg/mL	div	30分
	⑦ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
	⑧ カルボプラチン点滴静注液AUC6+5%ブドウ糖液250mL	div	60分
	⑨ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
d8,d15	① 生理食塩液 50mL(プライミング用)	div	-
	② アブラキサン点滴静注100mg/m ² +生食20mL/m ² インラインフィルター不可 払い出し容器は、100mLボトル 最終濃度は5mg/mL	div	30分
	③ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
d1	アプレピタントカプセル 125mg 抗がん薬投与の1時間~1時間半前に内服	p.o.	

プロトコール適応時表示コメント

Day2,3アプレピタント80mg内服。4サイクル実施後m、ペムブロリズマブ単独療法に移行。

照射併用時照射線量

グレイ(備考欄)